

令和7年度後期 保護者・児童アンケート 結果報告

令和8年1月 苫小牧市立緑小学校

過日実施しました「保護者アンケート調査」には、お忙しい保護者の皆様から沢山のご協力を賜りました。誠にありがとうございました。いただいたご回答の集計結果を、同時期に実施した児童アンケート関連項目の結果と併せて報告致します。

本アンケートと各種調査等の結果からこれまでの学校経営を評価し、次年度の教育活動改善に活用させていただきます。今後ともご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

評価基準 Aそう思う Bややそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない —わからない・未回答
平 均 A:4, B:3, C:2, D:1と点数化して表記

I お子さんの様子について

①(保護者)授業で学んだことが身に付いている。
(児童)学校の勉強はわかりやすいですか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	44.4	47.0	6.0	1.6	1.0	91.4	3.4
児童	63.3	31.7	3.5	1.5	0.0	95.0	3.6

0% 20% 40% 60% 80% 100%

肯定的な回答の割合が高く、概ね良好な結果となりましたが、今後も全ての学級において授業改善に努め、子どもたちの学力を育てていきたいと考えます。

②(保護者)家庭学習の習慣が身に付いている。
(児童)宿題や家庭学習などに取り組んでいますか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	36.5	45.4	13.7	4.1	0.3	81.9	3.1
児童	41.2	30.9	15.4	12.5	0.0	72.1	3.0

0% 20% 40% 60% 80% 100%

児童によって回答に開きがある結果となりました。子ども達のやる気を喚起し認めながら、個々の興味や習熟度に応じた指導等に継続して取り組みます。

③(保護者)運動に親しむ習慣が身に付いている。
(児童)進んで運動をしていますか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	39.8	35.7	20.1	3.2	1.3	75.5	3.1
児童	56.7	23.4	10.4	9.2	0.3	80.1	3.3

0% 20% 40% 60% 80% 100%

運動習慣の定着に向けては、改善の余地があると考えます。学校では、子ども達の体力的課題を踏まえた取り組みを進めます。

④(保護者)きちんとあいさつができるいる。
(児童)元気にあいさつをしていますか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	35.2	49.2	13.0	1.0	1.6	84.4	3.2
児童	62.6	24.0	9.8	3.6	0.0	86.6	3.5

0% 20% 40% 60% 80% 100%

継続的な指導により、児童の意識や行動に成長の様子がうかがえます。児童会の取組等も含め、引き続き改善に努めます。

⑤(保護者)思いやりの気持ちが育っている。
(児童)みんなにやさしくしていますか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	41.6	52.4	4.4	0.6	1.0	94.0	3.4
児童	57.3	34.1	6.2	2.4	0.0	91.4	3.5

0% 20% 40% 60% 80% 100%

この項目は最も重視すべき内容の一つとして、学校生活のあらゆる場面で充実した指導を行うことが必要であると考えます。

⑥(保護者)規則正しい生活習慣が身に付いている。
(児童)早寝早起きをしつくり目覚めていますか。

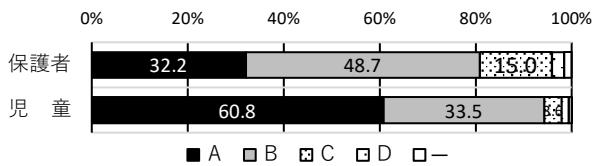
	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	34.4	44.9	16.6	4.1	0.0	79.3	3.1
児童	35.0	33.5	19.6	11.6	0.3	68.5	2.9

0% 20% 40% 60% 80% 100%

3割以上の児童近くが自身の生活リズムに課題を感じていることが見て取れます。個々の課題について、家庭と学校が連携して指導することが必要です。

⑦(保護者)学校や家庭のきまりを守っている。
(児童)学習や生活のきまりを守っていますか。

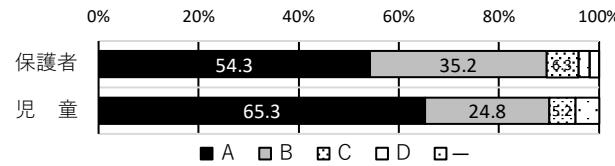
	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	32.2	48.7	15.0	2.5	1.6	80.9	3.1
児童	60.8	33.5	3.6	1.5	0.6	94.4	3.5



この項目についても、継続的な指導により児童の意識や行動に成長の様子がうかがえます。児童会の取組等も含め、引き続き改善に努めます。

⑧(保護者)学校が楽しそうである。
(児童)学校は楽しいですか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	54.3	35.2	6.3	2.2	1.9	89.5	3.4
児童	65.3	24.8	5.2	4.7	0.0	90.1	3.5



概ね良好な回答ではありますが、1割近くの児童が肯定的な回答ではないことを重く受け止め、更なる取組の充実を図っていく所存です。

II 学校の指導や取組について

①学校は、教育の方針や内容をわかりやすく伝えている。

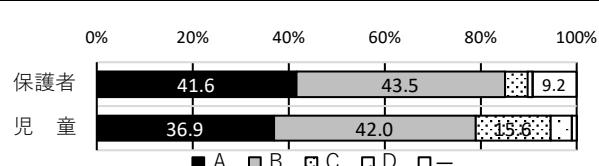
	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	43.3	43.3	6.7	1.3	5.4	86.6	3.4



教育活動の様子等については、4月の学校経営説明会やスマートサイト版学校便りの配信等でお伝えしてきました。今後も積極的な情報発信に努めます。

③(保護者)学校は、豊かな心の育成を図っている。
(児童)道徳の学習を生活に生かしていますか。

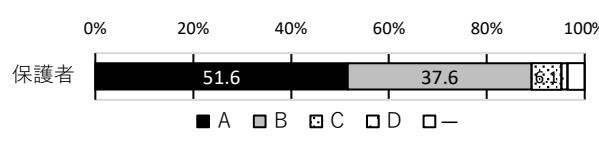
	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	41.6	43.5	4.8	1.0	9.2	85.1	3.4
児童	36.9	42.0	15.6	4.4	1.0	79.0	3.1



道徳授業の研修推進等、指導の充実を図っています。学校便り等を通し、指導の内容等を発信していく取組も必要であると考えます。

⑤(保護者)子ども達の安全確保や健康に配慮している。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	51.6	37.6	6.1	1.3	3.5	89.2	3.4



この項目は最重要の課題です。概ね良好な結果とはなりましたが、児童の安全や健康の確保に資する活動を改めて精査し、更に推進します。

②学校は、学力を高める授業や取組を行っている。

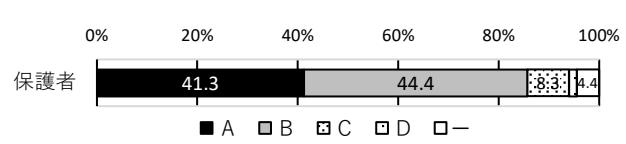
	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	41.3	43.3	6.1	1.6	7.7	84.6	3.3



概ね良好な結果ではありますが、更なる改善の余地があると考えます。継続的な授業改善の他、複数体制での指導の実施等、充実に向け取組を進めます。

④(保護者)学校は、体力向上を図っている。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	41.3	44.4	8.3	1.6	4.4	85.7	3.3



概ね良好な結果となりました。学校では、全学年で縄跳びの活動を行う等、新体力テストの結果等を踏まえた取組を行いました。運動の習慣化も含め継続が必要と考えます。

⑥(保護者)児童や保護者の相談に適切に対応している。
(児童)困ったときは先生に相談していますか。

	A	B	C	D	—	A+B	平均
保護者	51.0	36.0	5.1	1.9	6.1	86.9	3.4
児童	44.6	32.7	12.2	9.7	0.8	77.3	3.1



児童が安心して相談できる環境作りが必要であると考えます。ご家庭との連携や児童との対話を絶やさぬよう心がけ、誠意ある対応に努めます。

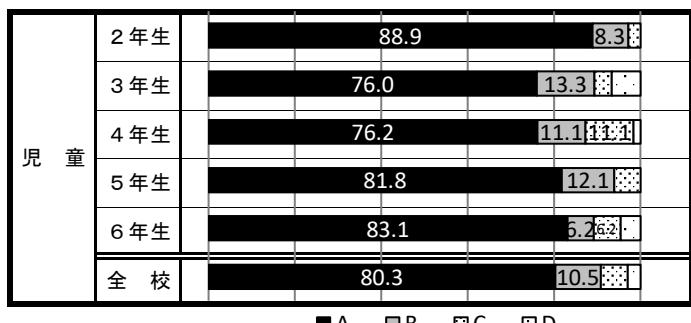
■児童アンケート 生活に関する質問項目

※1年生は質問数を減らしてアンケートを実施しています。本項目は2年生以上の回答です。

①朝ご飯を食べて登校していますか。

A 每日食べている	B 時々食べない日がある	C 食べない日が多い	D 毎日食べない
80.3	10.5	6.2	3.0

0% 20% 40% 60% 80% 100%



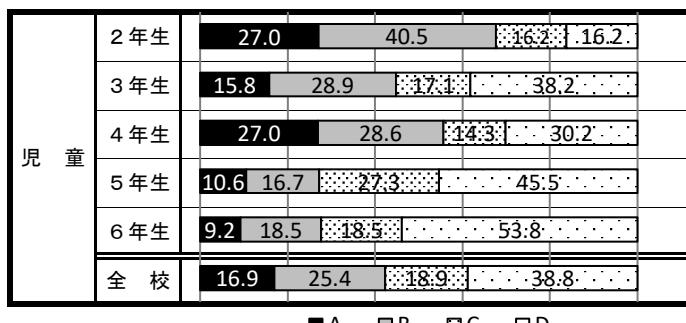
■A □B □C □D

健康な生活と健やかな成長の基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」はどの子にとっても大切です。しっかりと朝食をとって登校させるようお願いします。

②勉強以外で画面(テレビ、ゲーム、スマホ、タブレットなど)を見る時間は1日にどれくらいありますか。

A 1時間以内	B 1時間～2時間	C 2時間～3時間	D 3時間以上
16.9	25.4	18.9	38.8

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■A □B □C □D

学年が進むにつれスマホ等の利用時間が長くなる傾向にある旨読み取れます。適切なネット利用の仕方を含め、引き続き指導する必要があります。ご家庭でも話題にしてください。

■記述事項から(抜粋)

※お寄せいただいたご意見、ご感想は、全て拝見致しました。今後の教育活動改善に活かして参ります。
ここでは、代表的な内容について抜粋し掲載させていただきます。

【授業について】

□参観授業の際、先生の話を聞いていなかったり、勝手な行動をしていたりして注意を受ける子が多く見られた。こうしたことで授業が滞ることがもったいないように思う。もっと高め合っている学校になってほしい。

□習熟度別の授業を行ってほしい。

■学習効果の高い充実した授業を行うためには、子どもたちが集中し、意欲をもって学びに向かうことのできる環境づくりが重要であると考えます。本校では、子どもたちの主体性を尊重しつつ、規律ある学習態度や生活態度を育成することが課題の一つであると捉えています。今後更に取り組んでまいります。

■現在、習熟度別学習は、学習内容が難しくなり、苦手意識をもつ子どもが増える傾向にある4年生の算数授業において実施しています。その他の学年については、担任と協力して子どもたちの学習を支援する教員を可能な限り配置する等、取組を行っています。来年度も、様々な工夫を重ねながら、子どもたちの学習を支援する体制を整えてまいります。

【学習発表会の観覧について】

□学習発表会観覧の際の保護者待機場所を、外ではなく廊下等に変更してほしい。

□体育館への保護者入場をスムーズに行えるようにしてほしい。

■学習発表会のご観覧方法等につきましては、今回頂戴したご意見を参考に、検討させていただきます。

【通学路の安全について】

- 冬は通学路の歩道が凍っており、滑りやすく危険である。除雪や砂撒きを適切に行う等、改善してほしい。
- 歩道橋が劣化しているように感じる。揺れる場合もあり、安全性に不安を感じる。

- 校地内については、除雪や砂撒き等の対応を行っています。通学路の安全確保については、管理担当部署等関係各所へ点検、整備をお願いする等、連携を図りながら進めてまいります。
- 併せて、冬道の交通安全指導にも引き続き取り組み、子どもたちの安全確保に努めます。ご家庭でのご指導もお願い致します。

【その他】

- 「totoru(テトル)」という連絡用アプリを使わないと学校へ連絡できないことに不便を感じる。

- 昨年12月より、学校とご家庭の間で連絡を取り合う際に使用する連絡ツールが「テトル」というアプリに変更されました。お手数をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い致します。
- 欠席や遅刻のご連絡については、当日の朝8時までは「テトル」にて、8時以降はお電話にて学校までお知らせください。また、「テトル」を使用しての連絡が困難な場合は、時間を問わずお電話でご連絡いただいても差し支えありません。ご承知おきください。

- 子どもに不登校の傾向が見られるようになった場合、相談ができる窓口があると良い。

- 不登校等について、小中学校の垣根を越えた子どもの居場所があると良いと思う。

- 不登校に関する内容等、お子さんの学校生活や学習活動等についてご心配な点がある場合は、お気兼ねなく学校へご相談ください。担任や管理職等が窓口となり、内容に応じて複数の教職員が連携して対応する体制を整えております。また、スクールカウンセラーとの相談を希望される場合も、学校へご連絡ください。学校は、保護者の皆様と一緒に課題の解決に取り組んでまいります。
- ご相談の内容に応じ、中学校とも連携して対応いたします。

- スケート学習の回数を増やしてほしい。

- スケート学習の回数は、移動に使用するバスや施設の利用割当数により決まります。そのため回数を増やすことは困難ですが、体育協会の皆さんに指導へご協力をいただく等、今年度より始めた内容面での充実と安全の確保に継続して取り組んでまいります。

～この他にも沢山の貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に活かしてまいります。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。～